

## 川崎町 川崎町立川崎小学校(総合的な学習の時間) 「届けよう 川小太鼓！」

○市町名 川崎町

○学校名 川崎町立川崎小学校

○期 日 令和5年11月8日(水)

### ○内 容

総合的な学習の時間(5学年)

「届けよう 川小太鼓！」

### ○講 師

川崎町立富岡幼稚園 教諭 佐藤 新吾 氏  
(川内太鼓保存会員)

### ○児童の声

・私は、最初うでを挙げてたたくことができなかつたです。でも、しんご先生がたいこをたたいている姿が「かっこいいな。」と思って、うでを挙げるのをがんばりました。そして、本番ではうまくできたのでよかったです。

(相原莉那さん)

・私は、しんご先生にたいこをたたく姿勢や表現の仕方を教えてもらいました。たたく姿勢ではこしを低く、手をのぼしながら左右にゆらしながらたたき、表現では自分の気持ちでたいこの音がかわるのが分かりました。

(丹野芽星さん)



・私は、最初は声が出なくて音が合わないことが多かったけれど、声を出したらずれることがなくなってきました。やっぱり声を出すことは大事だなあと思いました。

(坂上莉徠さん)

・私がしんご先生に学んだことは、うまくできなくてもあきらめないということです。最初はなかなか自信が持てずに、うまくできませんでした。でも、しんご先生も最初はあまりできなかつたと聞いたので、私もあきらめずにがんばってやればうまくできると思えました。本番では、成功したのでうれしかったです。

(石井希和さん)



・ぼくはしんご先生に声の出し方を教えてもらいました。最初のころは声が出なかつたけど、しんご先生に教えてもらって日がたつごとに出来るようになりました。そして、本番では声が出ていたと親に言われて、うれしかったです。

(鈴木柊音さん)

## ○講師から

私の指導目標として、今年度は川崎町の子供たちに、和太鼓を通して志を持つことの大切さを伝えたいという思いで、川小太鼓指導に行ってきました。

指導初日は、話の中で児童との距離を感じ、どうか私に関心を持ち、話を聞いてもらうために何が必要かを考えさせられました。そこで、私がこれまで培ってきた太鼓表現を披露したところ、太鼓の迫力と表現に驚いたのか、それ以後の指導では、回を重ねるごとに目付きが変わり、最終日には自信に満ち溢れた素晴らしい太鼓を演奏する姿を見せられて感無量でした。今までにない、人の心に突き刺さる太鼓の音色と共に、児童の達成感が私に伝わってきました。人として大きく成長することができた今年度の太鼓指導でした。

一つになれた5年生に大きな拍手を。

(佐藤 新吾 氏)



## ○教職員の声

新吾先生からは5回指導していただきました。始めは、段ボール太鼓でのリズム打ちからでした。ひたすら毎日練習した結果、リズムは覚えることができました。

でも、なかなか上達しなかったのは、声を出すことと表現力でした。恥ずかしくてなか

なか声を出すことができない子供たちでしたが、新吾先生に「声を出すことは、応援していることだよ。太鼓を叩いている人は、声をなかなか出せないから、まわりの人が声を出してリズムを教えてあげるんだよ。」という話を聞いてからは、叩いている友達のために声を出すようになりました。

そして、表現力です。新吾先生が初めて太鼓を演奏してくださった時、とても迫力があり、子供たちは引きつけられるように見入っていました。気持ちによって音が違うこと、手の挙げ方、目力などたくさんのことを教えていただきました。それからの子供たちは、体全体で太鼓を叩くようになり、楽しんで太鼓を叩くようになりました。最初は、下を向いて話を聞いていた子供たちでしたが、練習を重ねるうちに、新吾先生の目を見て話を聞くようになりました。その姿からは、もっと上手になりたいという思いが伝わってきました。

お陰様で学習発表会は大成功に終わりました。教えていただいた新吾先生には、子供たち共々感謝の気持ちでいっぱいです。

(5年担任 大津 可南子先生)



## ○教育事務所から

講師の佐藤先生からは、太鼓の演奏方法だけでなく、志を持つことの大切さを伝えていただくことで、児童の内面の成長を引き出していただいたようです。発表会での堂々とした太鼓の披露は、聴いている人の心に大いに響いたことでしょう。